

認証を受けようとする製品に係る品質システムの概要 (様式1)

JIS Q 9001による要求事項	左欄の要求事項に対する規定内容の概要	*
<p>4. 品質マネジメントシステム</p> <p>4.1 一般要求事項</p> <p>4.2 文書化に関する要求事項</p> <p> 4.2.1 一般</p> <p> 4.2.2 品質マニュアル</p> <p> 4.2.3 文書管理</p> <p> 4.2.4 記録の管理</p> <p>5. 経営者の責任</p> <p>5.1 経営者のコミットメント</p> <p>5.3 品質方針</p> <p>5.4 計画</p> <p> 5.4.1 品質目標</p> <p> 5.4.2 品質マネジメントシステムの計画</p> <p>5.5 責任、権限及びコミュニケーション</p> <p> 5.5.1 責任及び権限</p> <p> 5.5.2 管理責任者</p> <p> 5.5.3 内部コミュニケーション</p> <p>5.6 マネジメントレビュー</p> <p> 5.6.1 一般</p> <p> 5.6.2 マネジメントレビューへの入力</p> <p> 5.6.3 マネジメントレビューからのアウトプット</p> <p>6. 資源の運用管理</p> <p>6.1 資源の提供</p> <p>6.2 人的資源</p> <p> 6.2.1 一般</p> <p> 6.2.2 力量、認識及び教育・訓練</p> <p>6.3 インフラストラクチャー</p> <p>6.4 作業環境</p> <p>7. 製品実現</p> <p>7.1 製品実現の計画</p> <p>7.2 顧客関連のプロセス</p> <p> 7.2.1 製品に関連する要求事項の明確化</p> <p> 7.2.2 製品に関連する要求事項のレビュー</p>		

JIS Q 9001による要求事項	左欄の要求事項に対する規定内容の概要	*
7.4 購買 7.4.1 購買プロセス 7.4.2 購買情報 7.4.3 購買製品の検証 7.5 製造及びサービス提供 7.5.1 製造及びサービス提供の管理 7.5.2 製造及びサービス提供に関する プロセスの妥当性確認 7.5.3 識別及びトレーサビリティ 7.5.4 顧客の所有物 7.5.5 製品の保存 7.6 監視機器及び測定機器の管理 8. 測定、分析及び改善 8.1 一般 8.2 監視及び測定 8.2.2 内部監査 8.2.3 プロセスの監視及び測定 8.2.4 製品の監視及び測定 8.3 不適合製品の管理 8.4 データの分析[a]は除く。 8.5 改善 8.5.1 継続的改善 8.5.2 是正処置 8.5.3 予防処置		
*		

注 (イ) この表は、A4用紙を用いて作成して下さい。

(ロ) *印の欄は記入しないで下さい。

(ハ) 「JIS Q 9001による要求事項」の欄は、JIS Q 9001の5.2, 7.2.3, 7.3, 8.2.1, 8.4aを除く4.~8.の細項目までの全項目を項目順に記載して下さい。

「左欄の要求事項に対する規定内容の概要」の欄は、JIS Q 9001による要求事項について規定している品質マニュアル、品質計画書及び社内規格（手順書をいう。以下この項において同じ。）の名称及び規定内容の概要を、次に示す記入要領を参考に簡潔に記入して下さい。

1) JIS Q 9001の4.「品質マネジメントシステム」

JIS Q 9001の4.1「一般要求事項」は、認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場における製品の品質システムの概要を記入するとともに、品質マニュアルを含む社内規格一覧表（企業全般の社内規格の体系についても記載する。）を記入して下さい。

2) JIS Q 9001の4.2「文書化に関する要求事項」

JIS Q 9001の4.2.3「文書管理」は、JIS Q 9001の4、「品質マネジメントシステム」における社内規格一覧表と関連付けて社内規格を発行する部署、審査・承認する部署、文書の変更の手順及び文書管理方法について具体的に記入して下さい。

3) JIS Q 9001の5、「経営者の責任」

JIS Q 9001の5.1「経営者のコミットメントのe)資源が使用できることを確実にする。」は、認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場の検証業務（監査を含む。）に携わる部署、人員及び対象業務を記入して下さい。

JIS Q 9001の5.5.2「管理責任者」は、認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場の管理責任者の職名、選任基準及び職務内容を具体的に記入して下さい。

JIS Q 9001の5.6「マネジメントレビュー」は、認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場の経営者による品質システムの見直し方法、見直し時期及び見直し結果の記録の保管方法について具体的に記入して下さい。

4) JIS Q 9001の7.4「購買」

JIS Q 9001の7.4.1「購買プロセス」は、認証を受けようとする製品の製造に必要な原材料、部品等の購買品の下請負契約者の選定基準、製造業者の管理の方式及び範囲の概要について具体的に記入して下さい。

JIS Q 9001の7.4.2「購買情報」は、認証を受けようとする製品を製造するのに必要な原材料及び品質について、様式3により記入して下さい。

5) JIS Q 9001の7.5.1「製造及びサービス提供の管理」及び7.5.2「製造及びサービス提供に関するプロセスの妥当性確認」は、認証を受けようとする製品の品質に直接影響する工程名及びその工程の管理（管理項目及び品質特性、管理方法及び検査方法等）について、様式4により具体的に記入して下さい。

6) JIS Q 9001の7.5.3「識別及びトレーサビリティ」

認証を受けようとする製品について、製品の識別方法及びトレーサビリティの手順を具体的に記入して下さい。

7) JIS Q 9001の7.5.4「顧客の所有物」

認証を受けようとする製品に組み込むため、顧客から支給された物品（原材料、部品等）の検査方法及び保管方法について具体的に記入して下さい。

8) JIS Q 9001の7.5.1「製造及びサービスの提供の管理」の「c)適切な設備を使用している。」は、認証を受けようとする製品の製造に使用する主要な製造設備の名称、公称能力（容量、精度等）及びそれら設備の管理について、様式5-1により具体的に記入して下さい。

9) JIS Q 9001の7.6「監視機器及び測定機器の管理」

認証を受けようとする製品の原材料等の購入検査及び試験、工程内検査及び試験並びに最終検査及び試験に使用する主な検査、測定及び試験設備について、様式5-2及び5-3により記入するとともに装置の取扱い及び保管の方法について具体的に記入して下さい。

10) JIS Q 9001の8.2.4「製品の監視及び測定」

JIS Q 9001の8.2.4「製品の監視及び測定」は、認証を受けようとする製品の原材料、部品等のうち、JIS Q 9001の7.4.2「購買情報」における原材料、部品等の購入検査及び試験について、4)のJIS Q 9001の7.4.2「購買情報」の様式に具体的に記入するとともに、不適合品の措置、及び緊急使用の処置について具体的に記入して下さい。

JIS Q 9001の8.2.4「製品の監視及び測定」は、認証を受けようとする製品の製造工程における各工程ごとの工程内の検査及び試験について、7)のJIS Q 9001の7.5.1「製造及びサービス提供の管理」及び7.5.2「製造及びサービス提供に関するプロセスの妥当性確認」の様式に具体的に記入するとともに、不適合品の措置についても具体的に記入して下さい。

JIS Q 9001の8.2.4「製品の監視及び測定」は、認証を受けようとする製品の検査記録の管理方法について

具体的に記入して下さい。

11) JIS Q 9001の4.2.4「記録の管理」

認証を受けようとする製品に係る主な品質記録ごとの識別、収集、見出し付け（検索）、保管、保護、廃棄方法、保管期間及び保管責任部署を具体的に記入して下さい。（下請負業者の品質記録を含む。）

12) JIS Q 9001の6.2.2「力量、認識及び教育・訓練」

認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場の教育・訓練に関する計画の立案、決定等の手順を記入するとともに、その実施内容を具体的に記入して下さい。

13) JIS Q 9001の7.5.3「識別及びトレーサビリティ」

認証を受けようとする製品の検査・試験後の不適合品及び適合品の表示（「マーキング」、「スタンプ」、「札」、「ラベル」等）の例及びそれらの管理方法について具体的に記入して下さい。

14) JIS Q 9001の8.2.2「内部監査」

認証を受けようとする製品に係る内部品質監査手順、監査結果の処置方法、監査結果のフォローアップ及び監査頻度について記入して下さい。

15) JIS Q 9001の8.5.1「継続的改善」

認証を受けようとする製品を製造する工場又は事業場の社内標準化及び品質管理の推進に関する計画の立案、実行、結果の確認、評価、改善のための処置の手順を記入するとともに、その実施内容を具体的に記入して下さい。

16) JIS Q 9001の8.5.2「是正処置」及び8.5.3「予防処置」

認証を受けようとする製品の不適合品の是正処置（苦情処理を含む。）及び予防処置のシステム（系統図）並びに手順を具体的に記入して下さい。